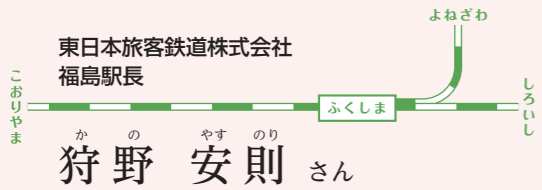




▲福島の観光復興について熱く語る狩野駅長



特産品、建築物など 楽しみな観光資源が豊富

平成26年4月でJR福島駅長就任から丸1年になる狩野安則さんは、旅を「出会いもあれば新しい発見もある。人生を幸福にしてくれるもの」と話します。「お客さまが『また行きたい』と思うような旅をご提案したい」と思い、いつもあれやこれや考えています。ひらめくと夜明けが待ち遠しくて仕方がないというアイデアマン。

「福島市は、磨けば光る観光資源を数多く持っている街です」と話す

花、温泉、豊かな自然、さらに磨きをかけて宝石に

狩野さんは、まず福島駅からブラッシュアップを図ろうと平成26年3月1日、子どもたちが楽しめるスペース、再生可能エネルギー情報館を駅構内にオープンさせました。市民の笑顔の写真を集めて福島市の花見山をモザイクアート（縦4.5m×横21m）にした作品も3月12日から展示しています。駅を出れば、魅力的な観光スポットがたくさんあります。福島市民家園には明治時代に建てられた風情のある芝居小屋「旧広瀬座」。百花繚乱の花が咲き競う花

見山から歩いて約20分のところには茶屋沼公園。飯坂温泉には、花もみの里。土湯温泉には、ツツジの群生地。高湯温泉や野地温泉のように大自然に抱かれるような感覚の温泉地もあります。「どれも福島市の宝です。磨けばもともっと光り輝く宝石です」

巡るほど美しい花と幸福な出逢いが待っている福のしま。ぜひ、春風と一緒に outcomes ください。



▲モザイクアートは福島学院大学木村ゼミの皆さんの協力で作成しました。6月30日まで福島駅西口2階新幹線コンコースの壁面に設置されます。福島にお越しの際はぜひご覧ください



▲福島駅西口2階新幹線コンコース内に開設された「再生可能エネルギー情報館」。蓄電池で走行する模型列車などが展示されている

※ブラッシュアップ…より良くするために、磨き上げること



特集 息をのむ花風景

美しき福島の春を巡る福の旅

～ふくしまデスティネーションキャンペーンに向けて～

かすかに聞こえていた春の足音がどんどん近づいています。福島は、目くるめく花の波。レンギョウ、ボケ、花モモ、ハクモクレン、そして桜が咲き競う花景色は、息をのむ風景になります。JR福島駅長就任2年目の狩野安則駅長に福島市内の観光スポットと福島駅の取り組みをお聞きしました。

▲JR福島駅東口に設置された「駅名標」の前で。「福」の「しめすへん」は、子どもの「子」に似せ、福島の子どもの未来に幸福が来るようにという思いを。「島」は、福島島の形。「駅」は、人がたくさん行き交う様子をイメージしながら書かれたそうです。